

弥彦村社教だより

平成 29 年 4 月 7 日 NO. 5

弥彦村社会教育委員の会

《平成 28 年度のまとめ》

3 月 16 日に弥彦中学校において、第 6 回社会教育委員の会を開催し、28 年度の活動について総括しました。会で話し合われたことをまとめてお伝えします。

1 今年度の成果

- ・ 中越社会教育研究集会等に参加し研修を積めた。
- ・ 村交流会や若彦会を開催し、参加者から肯定的評価や継続を望む声を多数もらった。
- ・ 村交流会や若彦会を開催で、互いが村を思う気持ちが分かり、繋がりが広がった。
- ・ 若者が参加する事業を開催できたことは意義がある。
- ・ 社会教育委員の計画により事業を開催できたことは、村にとって大きな一歩であり、継続することでさらなる前進が期待できる。
- ・ 「社教だより」を 4 号発行し、村民から興味をもって読んでいるとの声が聞けた。

2 次年度の課題・改善点

- ・ 社会教育委員の認知が依然として低い。さらなる周知が必要である。
- ・ 参加者の肯定的評価を受けた事業は、さらに参加者を増やすことで繋がりが広がる。
- ・ 交流会等の参加者の確保が、社会教育委員の声掛け先に限定された。早めに広く周知する方法を検討する必要がある。
- ・ 社会教育委員が、地域貢献、ボランティア、生涯学習等の相談窓口になることが求められる。
- ・ 社会教育委員の手を離れ、地域団体、有志集団等による事業開催が開かれるように工夫する必要がある。

3 村への提言

(1) 社会教育委員を 7 人体制に

村越氏の死去に伴う補充をお願いするとともに、次年度より 2 名を追加して 7 人体制でお願いしたい。現委員が高齢であるため、活動が若年層まで広がりにくい。また、体力的にも活動が制限されるので、意欲と活力のある委員 3 名の補充を望む。

(2) 「社教だより」に関して予算付け

社会教育、社会教育委員への村民の認知がまだまだ低い。自治活動を盛んにし、生涯学習の機運を高めるためにも、「社教だより」作成に対し予算付けをお願いしたい。

(3) 村主催で子育て（家庭教育）に関する事業等を開催

現在、村の教育として課題となっている幼児教育等に関して、村民が興味をもって参加できる講演会や講習会の開催を望む。社会教育委員と村担当課とが連携して開催

し、ボランティアの協力や母親同士の繋がりをつくり、子育てが安心安全にできる環境の構築に当たりたい。

(4) 交流会等の開催について組織作りへの村の支援

昨年度実施の、地域住民参加の交流会等について、参加者から継続を望む声が多く聞かれ、地域を思う熱い気持ちが伺えた。地域ネットワークや地域貢献組織として育成できれば、今後、弥彦村の大きな力となり得る。そのため、地域住民が集い、意見を述べ、貢献活動を行うための組織作りに、村からの支援を望む。(文責 堀)

《地域の情報 <PTA会長奮闘記>・・・(弥彦)五十嵐ゆかり さん》

忘れもしない、平成25年の3月初旬に載った三条新聞の記事。「小学校の給食室ドライ化工事」の記事で、工期まで決定しているという内容でした。会長として最初の仕事は、ドライ化工事の件を保護者に説明し、了解してもらう事からでした。会長が女だったことが良かったのか、想像していたよりも保護者の皆さんに協力していただいて無事、工事が終了しました。

それから子どもたちの前で話をする仕事は、緊張しましたね。順番が後のために、教頭先生から自分が用意していた内容を先に言われてしまい、パニックしたこともありました。卒業式では、私は卒業生の母でしたが、会長として壇に上らなければなりません。子どもたちに祝辞を無事述べた後、やっと母親に戻ることができました。一気に娘の入学から今日までの思い出が込上げてしまって、急に涙が止まらなかったことを覚えています。

当番として回ってきた会長職、恐れ多かったです。私にとって貴重な体験でした。

《家庭教育支援ガイドブック・・・新潟県教育委員会生涯学習推進課》



家庭教育の担い手である保護者の学びを応援するため、新潟県教育委員会では、家庭で大切にしてほしいことをまとめた「家庭教育支援ガイドブック」を作成しました。

学校や社会教育施設等での家庭教育講座開催をはじめとする家庭教育支援の中で、家庭への情報提供に役立ててもらおうことを目指しています。保護者の方、これから親になる方も、子育てのヒントとしてぜひ活用してください。具体的な内容は、家庭で大切にしてほしい、15のテーマに関して保護者向け情報をイラスト入りで掲載しています。インターネットで「新潟県 家庭教育支援ガイドブック」と検索してください。

<内容>

- 1 睡眠ってこんなに大切
- 2 規則正しい生活リズムをつくるポイント
- 3 あいさつで築く人間関係
- 4 素直に言えるようになりたい大事な言葉「ありがとう」「ごめんなさい」

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 5 子どものやる気をサポート | 6 自立した子を育てる親のかかわり方 |
| 7 話の聞き方で心をつなぐ | 8 話を聞くときのポイント |
| 9 ほめることの効果 | 10 お手伝いができる子に |
| 11 子育てで大事なことは、さじ加減 | 12 子どもと一緒にいじめについて考えて |
| 13 子どもに身近なインターネット | 14 見てますよ聞いてますよ |
| 15 豊かなつながりの中で親も子も育つ | |

<このガイドブックができた理由>・・・家庭教育はとても大切

❖ 現代の危機的な家庭教育事情

社会の急速な変化により家庭や地域の環境も変わり、今までの家庭教育をそのまま進めることが困難な家庭が多くなっています。子育てについての不安や孤立を感じていたり、子育ての放任や過保護、虐待等により、基本的な生活習慣や社会性・自立心の育成に課題を抱えていたりする家庭もあります。

また、第2期教育振興基本計画では、学習機会を提供する多様な場の一つとして、親とつながりやすい学校という場があげられています。

❖ 家庭教育支援の必要性

このような家庭教育の危機的な現状をふまえ、平成18年の教育基本法の改正により、下記のように新しく「家庭教育」や「学校・家庭・地域の連携協力」に関する条文が規定されました。家庭教育は、父母その他の保護者が、子どもに対して行う教育です。家庭教育は、乳幼児期からの愛情による絆で結ばれた家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上での重要な役割を担っています。

《追悼・・・村越隆典委員》

村越さんの通夜には、8百名余りの人が出席しました。今までにない人数だそうです。準備した返礼品は追加、追加でやっと間に合ったとのことでした。それほど彼を慕う人が多かったということです。棺の側には消防団の帽子が供えられていました。彌彦神社の氏子として中心的役割を担っていました。社会教育委員の弥彦代表として中越地区で発表もしました。いつも大きな声で積極的に皆を引っ張ってくれていました。

全ての場面で存在は大きかったと思います。今後の活躍が期待されていました。病を得てからもそれに立ち向かい、いつも通りに活動していました。あまりに早い旅立ちで残念、無念です。しかし、残された我々が、彼の遺志を継いで、これからの弥彦村の地域振興や社会教育の発展に貢献する思いでおります。

(文責 平井)

《村越隆典委員作成文書・・・中越地区会社会教育連絡協議会会誌より》

社会教育委員の立場をあずかって2年になります。どのようなことをどのように進めしていけばよいかという事が私の課題になっています。そんな時に、去年は委員長である弥彦中学校の堀校長先生の号令の下、まず弥彦村に存在するさまざまな会、団体を把握しようという事で会議が開かれました。様々な会があり、その代表者は誰なのか、こういった連絡の方法があるのかという事が話し合われどのように声がけをしていけるかということを検討しました。その結果、とにかく最初は顔合わせをしようということになりました。

その後、各会、団体の代表の方たちに集ってもらい、弥彦村は今後どう進んでいけばよいと思うか、そのためにどうしたらよいかという会議を開くことができました。各会の代表と村当局の課長を含め二十数名の方に参加をしてもらい、社会教育委員が司会を務め、4グループに分かれて、会議を行いました。この会議の中で、

- ・観光地としての弥彦村の方向はどう考えたらよいか。
- ・弥彦村の名物を増やしてはどうだろうか、どんなものができそうか。
- ・弥彦村を住みよい場所にするにはどうしたらよいか、魅力は何か。
- ・子供たちの教育にどんな付加価値を付ける事ができるか。

などのいろいろな意見、問題、可能性が議論されましたが、初めての会議であった為 私が司会を務めたグループは、なかなかまとめきれずに会議は時間切れのような形で終わりましたが、視点が違ふとこんなにもいろいろな事があるのだなあと思いながら司会をしていました。この時に議論された内容を、次回もっと深く具体的にできたら良いと思っています。この会を何回か重ねていくことで意見がまとまり、弥彦村の進むべき方向性が見えてくるのではないかと考えています。いろいろな会の人、いろいろな弥彦村を想っていることを知る事ができ私自身も勉強になっています。これからもできることを探していきたいと思います。

委員長 堀 隆行 (弥彦中学校長)

副委員長 平井 茂人 (村山)

委員 本多 隆峰 (麓一区)

委員 柏原 路子 (麓二区)

事務局 橘 芳延 (教育課)

**※ ご意見のある方は、近くの委員、もしくは中学校、教育委員会事務局に
お電話ください。(中学校 94-2101 事務局 94-4311)**